

陶管ヒューム管-VU変換ソケット取扱説明書

品番：THPSF150, THPSF200 (接着タイプ)
THPRF150, THPRF200 (ゴム輪タイプ)

このたびは、陶管ヒューム管-VU変換ソケットをご採用いただきありがとうございます。施工の際には、この説明書をお読みいただき正しくお取扱いお願い申し上げます。本製品は、上流側に塩ビ管(VU)、下流側は陶管またはヒューム管を接続するために使用します。それ以外の用途には使用できません。

施工手順と注意事項

① 天文字を管頂に合わせて下さい。(天文字は、銘板に表示されています。)

② 塩ビ管との接合は、受口ストッパーまで挿入して下さい。
接合の際は、「てこ棒」または「挿入機」と接合剤をご使用下さい。
挿入機を使用する場合は、下流側を陶管またはヒューム管に仮挿入して(接合剤使用前)心出しを行い、浮き上がらないように押さえながら挿入して下さい。浮き上がり等による芯ズレは、接合不良の原因になりますのでご注意下さい。

注) THPRF (ゴム輪タイプ) には、専用の水溶性滑剤をご使用下さい。
THPSF (接着タイプ) には、遅乾性接着剤をご使用下さい。

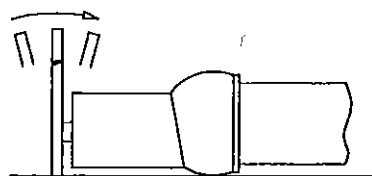


図1 てこ棒使用の場合

図1, 2, 3 参照

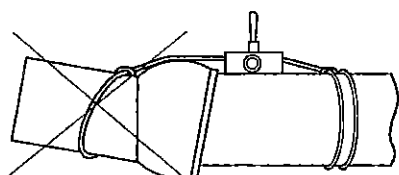


図2 挿入機使用の場合
(芯ズレを起こす状態)

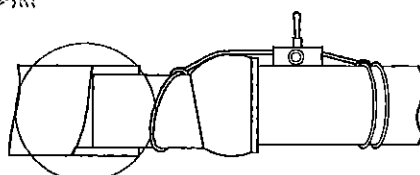


図3 挿入機使用の場合
(下流側が固定されている状態)

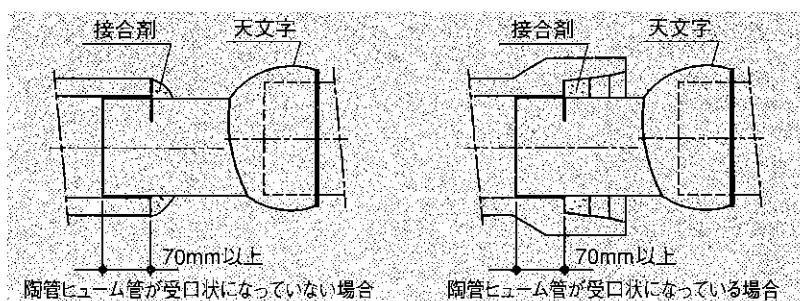


図4

③ 陶管またはヒューム管との接続は、図4に示すように接合剤(陶管・ヒューム管と塩ビ支管の接合用)にて全周すきまなく塞いで下さい。

④ 陶管またはヒューム管との差込代は70mm以上確保して下さい。70mmの位置は標線が示してあります。

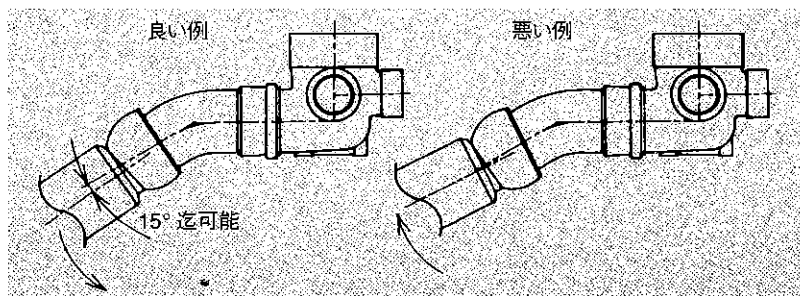


図5

⑤ 自在受口部は片側15°まで変角可能ですが、排水の溜り部を生じさせないために、図5に示す悪い例のような方向には曲げないで下さい。